

PGM-FI

Hondaが長年にわたり熟成を重ねた水冷4ストローク90度V型2気筒エンジンには、新たにPGM-FI (電子制御燃料噴射装置)を搭載。その制御部には、演算処理能力を向上させた新設計高性能32bitプロセッサー ECU (エレクトロニック・コントロール・ユニット)を採用。ジェネレーターは、発電容量を約5%向上させ、レギュレーターを5A大容量化することで、PGM-FIの作動に必要な電力を確保しています。

クランクシャフトに装着したクランクパルサーを、エンジン回転数とピストンの位置をより詳細に検知するため、クランク角検知部を9箇所から13箇所に増設。従来よりもきめ細やかにエンジンの状態を検知し、燃料噴射量、噴射タイミング、点火タイミングをコントロールします。これにより、パーシャル開度での出力特性と、スロットルリニアリティーを大幅に向上。これらの進化は、環境性能を高めるだけでなく、エンジン状態に応じて最適な燃料噴射および点火時期のコントロールを行うことで、扱い易さを向上しています。市街地走行で多い一時停止から60km/h程度までの加速時においても、粘り強いパワーを発揮。また、パーシャル走行からのスムーズな加速を可能とするとともに、高回転域でも伸びやかでフラットな力強い吹け上がり感を実現。優れたスロットルレスポンスとリニアリティーにより、微小開度のコントロール性能が向上し、エントリーユーザーやベテランユーザーを問わず、誰でもワインディングで十分楽しめる性能を確保しました。またPGM-FIの採用により、実用燃費の向上にも寄与しています。

さらに、PGM-FIの採用に伴い、新設計のフューエルタンク底板に樹脂製フューエルポンプを内蔵し、燃料配管に樹脂製クイックコネクターを採用。ワンタッチでフューエルタンクの脱着を可能とし、メンテナンス性にも配慮しています。トランスミッションは、幅広いパワーバンドを活かすために、5速ミッションを踏襲。街中からワインディングまで少ないギアチェンジでスムーズにパフォーマンスを発揮します。

クランク角検知部



クランクパルサー (New VTR)



クランクパルサー (従来モデル)

